

会 議 議 事 録

会議の 名 称	生命倫理委員会	日 時	平成27年11月19日(木)17:00~18:00
		場 所	大 会 議 室
出席者	委員長：森村統括診療部長 委 員：澤田臨床研究部長、内炭救急部長、柳田診療部長、 竹内外部委員、松・外部委員、光木看護部長 <div style="text-align: right;">(書記) 庶務係長</div>		
議 題 及 び 討 議 事 項			
<p>【神経筋疾患患者における構音障害に関する研究】</p> 受付番号：27-25 頁数：1～6頁 (申請者：リハビリテーション科 言語聴覚士 荻野 智雄) 申請者説明 本研究の目的は、神経筋疾患に伴う構音障害の特徴を明らかにすることである。研究対象は、当院に通院もしくは入院中の神経筋疾患患者であり、方法は観察研究である。患者および健常対象者に対して、横断的に音声構音検査を行う。音声の録音は、日本音声言語医学会の方法に準じて行う。1回の検査時間は、20分以内には終了する予定であるが、各対象者により進捗度が違うため、研究時間を明記することはしていない。研究期間は5年間としている。研究結果の保存期間は永久とする。 <p>審査内容：特に問題なし。</p> <p>審査結果：承認。</p> <p>【デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者におけるInBodyを用いた栄養評価の有用性】</p> 受付番号：27-26 頁数：7～15頁 (申請者：小児科医長 白石 一浩) 申請者説明 本研究の目的は体成分分析装置(InBody)を用いたDMD患者の栄養評価についての報告は少ないため、その妥当性や有用性について検討することである。研究対象は当院に入院または通院をしているデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者である。研究方法は以下のとおりである。1. 高精度体成分分析装置InBodyによる標準の測定項目(体成分分析、筋肉・脂肪量、肥満指標、部位別筋肉量・水分量、基礎代謝量、水和率など)の評価を行うこと。2. 臨床情報の収集。収集情報は、ADL、身長、体重、呼吸状態、栄養摂取量である。3. 血液検査による栄養状態の評価。検査項目は、総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、T-Cho、TG、リンパ球数などである。			

審査内容：特に問題なし。

審査結果：承認。

【多施設におけるDuchenne muscular dystrophy患者の養育者に対する教育に関するアンケート調査】

受付番号：27-27 頁数：16～22頁

（申請者：小児科医長 白石 一浩）

申請者説明

近年、DMD患者の多くは、家族とともに地域で生活し、地元の学校へ通っている。しかし教育現場では、対応に問題が生じている。前回の調査では、養育者が学校選択や学校生活について悩んでいる現状が明らかになった。本研究では、DMD患児が、実際にどのような学校生活を送っているのかを調査し、今後の養育者の学校選択の参考になる資料を作る。研究対象は、当院ならびに、刀根山病院、滋賀県立小児保健医療センター、兵庫医科大学病院、愛知県心身障害者コロニー中央病院、くま在宅クリニック、名古屋市立大学病院、医王病院に通院中の在宅生活を行っているDMD患者である。対象年齢は、小学生以上、20歳以下である。研究方法はアンケート調査である。

審査内容：特に問題なし。

審査結果：承認。